

# 試 験 報 告 書

依 頼 者 北海精機株式会社

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 大地AS-L

表 題 抗菌力試験

2019 年 04 月 08 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

## 抗菌力試験

### 1 依頼者

北海精機株式会社

### 2 検体

大地AS-L

### 3 試験概要

検体溶液に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

### 4 試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地で希釈することにより, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを予備試験(表-2 中和条件を参照)により確認した。

表-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対象	濃度	生菌数 (/mL)	
			開始時	2時間後
VRE	検体	20倍希釈	—	$5.4 \times 10^5$
	対照	—	$9.4 \times 10^5$	$7.0 \times 10^5$
大腸菌	検体	20倍希釈	—	<10
	対照	—	$5.4 \times 10^5$	$6.1 \times 10^5$
大腸菌 (O157:H7)	検体	20倍希釈	—	<10
	対照	—	$4.0 \times 10^5$	$7.6 \times 10^5$
レジオネラ	検体	20倍希釈	—	<100
	対照	—	$3.0 \times 10^6$	$1.2 \times 10^6$
緑膿菌	検体	20倍希釈	—	<10
	対照	—	$4.2 \times 10^5$	$5.5 \times 10^5$
サルモネラ	検体	20倍希釈	—	<10
	対照	—	$6.8 \times 10^5$	$8.2 \times 10^5$
黄色 ブドウ 球菌	検体	20倍希釈	—	$2.5 \times 10^3$
	対照	—	$6.2 \times 10^5$	$5.8 \times 10^5$
MRSA	検体	20倍希釈	—	<10
	対照	—	$9.7 \times 10^5$	$5.8 \times 10^5$

<10及び<100：検出せず

保存温度：25 °C

対照：精製水(黄色ブドウ球菌及びMRSAは生理食塩水)

表-2 試験条件

	試験菌	① <i>Enterococcus faecium</i> NCTC 12204 (バンコマイシン耐性腸球菌 ; VRE) ② <i>Escherichia coli</i> NBRC 3972(大腸菌) ③ <i>Escherichia coli</i> ATCC 43895 (大腸菌, 血清型O157:H7, ペロ毒素 I 及び II 型産生株) ④ <i>Legionella pneumophila</i> GIFU 9134(レジオネラ) ⑤ <i>Pseudomonas aeruginosa</i> NBRC 13275(緑膿菌) ⑥ <i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>enterica</i> NBRC 3313(サルモネラ) ⑦ <i>Staphylococcus aureus</i> subsp. <i>aureus</i> NBRC 12732 (黄色ブドウ球菌) ⑧ <i>Staphylococcus aureus</i> IID 1677 (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 ; MRSA)
試験菌液	試験菌①～③, ⑤及び⑥	前培養 : 普通寒天培地[栄研化学株式会社], 35 °C ± 1 °C, 18～24時間 菌液調製溶液 : 精製水 菌数 : 10 <sup>7</sup> ～10 <sup>8</sup> /mL
	試験菌④	前々培養 : B-CYE α 寒天培地[栄研化学株式会社], 35 °C ± 1 °C, 2～3日間 前培養 : B-CYE α 寒天培地, 35 °C ± 1 °C, 2～3日間 菌液調製溶液 : 精製水 菌数 : 10 <sup>8</sup> ～10 <sup>9</sup> /mL
	試験菌⑦及び⑧	前培養 : 普通寒天培地, 35 °C ± 1 °C, 18～24時間 菌液調製溶液 : 生理食塩水 菌数 : 10 <sup>7</sup> ～10 <sup>8</sup> /mL
試験溶液	精製水で20倍に希釈	
試験液	検体溶液10 mLに試験菌液0.1 mLを接種	
保存条件	2時間 (25 °C ± 1 °C)	
中和条件	試験菌①～⑥及び⑧ SCDLP培地[日本製薬株式会社]で10倍希釈 試験菌⑦ SCDLP培地で100倍希釈	
対照	試験菌①～⑥ : 精製水 試験菌⑦及び⑧ : 生理食塩水	
生菌数測定	試験菌①～③及び⑤～⑧	SCDLP寒天培地[日本製薬株式会社], 混釈平板培養法 35 °C ± 1 °C, 2日間
	試験菌④	B-CYE α 寒天培地, 平板塗抹培養法 35 °C ± 1 °C, 7日間

以 上